

セミのぬけがら調べ

セミのぬけがら分布図

送っていただいたセミのぬけがらから、セミの種を確認（同定）して、見つかったセミの分布や、林の環境との関係について調べました。

1995年の「セミのぬけがら調べ」で、種ごとの分布図を作成しましたが、今回はこの情報を追加するとともに、分布の変化についても知ることができました。

ここでは話題性のあるミンミンゼミとクマゼミについて紹介します。ミンミンゼミは南関東に生息地が多いことが知ら

れており、この分布図でもその傾向が読みとれます。また、関東以外の生息地が少ない地域での追加記録がなされ、より完成度の高い分布図になりました。クマゼミでは、1995年時では北進傾向があることがわかりましたが、今回の調査では北限に近い記録が数件追加された程度で、ほぼ従来通りの分布になりました。1990年代前半、南関東地方で分布の広がりをみせていましたが、後半はほぼ広がりが止まっているようです。この2種の分布図からは大きな変化はみられず、セミからみると5年間の日本の自然環境は安定していたことが読みとれます。このように分布を追いつけることは、大きな目で環境変化を知る手がかりにもなります。



ミンミンゼミ
Oncotympana maculaticollis



クマゼミ
Cryptotympana facialis

